

令和元年度森林環境譲与税の用途について

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）		
意向調査の準備作業	森林整備林業振興事業	14,440.0	14,440.0	0.0	森林経営管理制度に基づく森林整備を今後実施していくための準備調査として、森林の現状を把握する業務を民間事業者へ委託。	航空レーザ測量による森林資源状況の把握、目標林型（目標とする森林の姿）及びゾーニング図の作成を実施
私有林整備	森林整備林業振興事業	11,148.0	10,933.0	215.0	私有林造林事業における民間事業者の「保育事業」への補助金交付により、森林整備の促進を図る。間伐や路網整備等の施業に対して支援。	間伐：16.83ha 下刈り：2.86ha 枝打ち：0.27ha 作業道開設延長：4,081m
合計		25,588.0	25,373.0	215.0		

税導入の効果

- 【詳細】
- ・本市の私有林面積は41,447haであり、大部分について森林整備が10年以上実施されていない現状であることから、本税を活用し森林経営管理制度の効率的な活用及び保育事業の促進に取り組んでいる。
 - ・森林の基礎調査においては、森林資源の把握と森林の発揮すべき機能に応じた目標林型とゾーニングの整理につながった。また令和2年度に実施する森林整備推進計画の策定業務の基礎資料として活用する。
 - ・森林整備林業振興事業においては、間伐等の施業を19.9ha実施し森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。